



高齢者の
元気な働きで
明るい社会

No.102

2026・7

発行／公益社団法人高知市シルバー人材センター 〒781-0802 高知市丸池町1-1-14

TEL 088-882-3839
e-mail kochi-sc@sjc.ne.jp



も
く
じ

第46回定時総会	2-3	会員紹介	6
感謝状・会員表彰・定時総会を取材して	3	0800からの電話	7
事務局長退任・就任のご挨拶	4	潮江地区子ども見守り隊終了	7
令和7年度ブロック総会	5	会員ひろば	8

シルバー人材 高知

「高知市シルバー人材センター」
スマホで読み取り▶





令和8年度

第46回 定時総会

日時：令和8年5月28日（木）13時30分
 場所：高知会館 2階 白鳳の間

会員総数 1,051名
 委任状提出者 559名
 出席者 215名

理事長挨拶



古味 勉
理事長

本日は、令和8年度高知市シルバー人材センター定時総会にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、公務ご多忙の中ご臨席賜っており、関係機関、高知市並びに高知市議会、高知労働局の皆様、日頃のご支援・ご協力に厚く御礼申し上げます。

そして本日の総会に併せて感謝状の贈呈、表彰状の授与をさせていただき、皆様、これまでの当センターへのご支援・ご貢献に心から感謝申し上げます。

さて、高知市シルバー人材センターの現状でございますが、ここ数年間は全国共通の最重要課題として

会員数の拡大に取り組んでまいりました。その結果、昨年度は過去5年間で最も多い189名が新規加入をされています。年度末会員数は29名増加し1千75名となっております。こちらも過去5年間で最も多です。年齢構成では、新入会員の平均年齢は78歳で、会員全体では平均75歳、80歳以上の会員割合も18%と2割に近づいています。

一方で、就業会員の割合である就業率は低下しています。つまり就業されていない会員も増加している状況であり大きな課題です。

会員数の増加は、最重要課題として取り組んだ成果に加え、近年の物価上昇に対し年金所得などの増加は追いついておらず、シルバー人材センターでの就業により収入を増やそうといったニーズもあるのではないかと考えています。こうした傾向は、当面続くと見込まれますので、それぞれのニーズや年齢に応じた適切な仕事で就業することができましよう。今後、会員拡大と併せてこれまで以上に新たな就業機会の確保に力を入

れていく必要があると考えています。また、シルバー人材センターの事業運営につきましては、様々な制度改正や物価上昇、人件費増加などに対応するため2年連続で事務費率のアップを発注者にお願ひさせていただくなど、経営環境は厳しさを増しています。

本年度からはワンコインサービスも廃止となっており、今後も安定した事業運営を進めていくためには、やはり新たな就業機会の確保、契約件数の拡大が求められます。

さらには安全就業の徹底など、求められているその他の課題も含めて対応を進めていく必要があります。そのためには地域の情報や豊富な経験、ネットワークなどを持つ会員の皆さんの力を事業運営の中でも活かしていただくことが欠かせないと考えています。

シルバー人材センターの理念は「自主・自立・共働・共助」です。あらためて会員の皆さんと役員で一致協力をして、今後のシルバー事業の発展と活性化を目指していきたいと考えています。皆様にはご協力をよろしくお願ひいたします。

併せて、関係機関の皆様にも引き続きご支援・ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

結びに、皆様のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

市長祝辞

桑名龍吾高知市長

(代読)

高知市シルバー人材センター第46回定時総会の盛大なる開催を、心よりお喜び申し上げます。貴センターは昭和56年の発足以来、40年以上にわたり「自主・自立・共働・共助」の理念の下、働くことで健康と生きがいを求める多くの会員の皆様のための組織として活動されてきました。これまでの会員の皆様や職員の方々のご尽力に対し、心から敬意を表します。

現在、我が国は少子高齢化社会に直面しており、高齢者が豊富な経験や知識を生かして生涯現役で社会参加していくことは、大変意義深いことです。全国の65歳以上人口の割合が約29.4%であるのに対し、高知市では今年4月現在でそれを上回る31.7%が高齢者となっております。

さらに、高知市では昨年度比で約3,200人の人口が減少しており、産業や福祉など様々な分野での人材不足の解消が急務となっております。今後も人口が減少の一途をた



どる中、働く意欲を持つ高齢者の増加とともに就労ニーズも多様化しており、高齢者が働き手として活躍し続けられる環境を整えることが極めて重要です。

このような状況において、貴センターが理念に基づき、高齢者の多様なニーズに応じた就業機会を提供するとともに、地域に密着した事業を通じて長年市民の生活を支えてくださっていることに、改めて深く感謝申し上げます。また、平成9年の創刊以来、歩みを続けてこられた会報誌「いきがい高知」が第100号の節目を迎えられたことをお祝いたします。

高知市といたしましても、高齢者の皆様が豊かな経験や知識を生かし、社会を支える一員として就業やボランティア、地域活動などへ幅広く参画・貢献できるよう、今後ともシルバー人材センターの運営を支援してまいります。

結びに、高知市シルバー人材センターのますますのご発展と、会員の皆様方のご健康、そして末永いご活躍を心より祈念申し上げます。

(要約文)

◆発注者感謝状 3団体

(令和7年度実績)

- ・四国管財・日本管財共同企業体 代表企業 四国管財株式会社
- ・公益財団法人 神田霊園 株式会社 山内会館

(敬称略)

◆会員一般表彰

(令和7年度実績)

- 山崎 正彦(春野ブロック)
- 森野 右介(潮江ブロック)
- 山元 芳子(鴨田ブロック)
- 渡部 軍兵(鴨田ブロック)
- 南 早苗(一宮ブロック)
- 楠瀬 恒夫(長浜ブロック)
- 中村 昂子(潮江ブロック)
- 川村 彬夫(旭 ブロック)
- 松本 鉄也(大津介良ブロック)
- 松立 隆(江ノ口ブロック)

◆会員特別表彰

(令和7年度実績)

- 中村 護子(朝倉ブロック)
- 田上太永子(鴨田ブロック)
- 島崎初日子(長浜ブロック)
- 高橋 毅(江ノ口ブロック)
- 森 英彦(高須五台山ブロック)

(敬称略)

◆会員功労表彰

(令和7年度実績)

- 上杉 祐三(三里ブロック)
- 工藤 武雄(朝倉ブロック)
- 浜田 晶子(高須五台山ブロック)

(敬称略)

◆理事長表彰規定

(抜粋)

〔表彰の種類〕

第3条 前条の表彰は、次のとおりとし、該当する者に対して行う。

◆会員一般表彰

センター会員の在籍期間が3年以上で、就業実績が優秀で他の会員の模範となる者

◆会員特別表彰

センター会員として、15年以上在籍し、センター事業発展に寄与した者

◆会員功労表彰

ブロック活動において、ブロック長や班長・副班長として5年以上在籍し、センター事業発展に寄与した者

◆その他

理事長が特に必要と認めたる者

附則 この規定は令和5年4月1日から施工する。

◆退任役員特別表彰

理事 森岡 知恵子

(二宮ブロック)

(敬称略)

定時総会を取材して



司会者により規定による総会の成立が報告されて開会。理事長挨拶に続き、市長と労働局長の祝辞がありました。

次に発注者3団体に感謝状の贈呈、会員対象の各表彰(計18名に表彰状授与)が続きました。また退任理事1名が特別表彰を受けました。西郷泰和氏を議長に選出、議案書に従って審議に入り、原案通り可決承認されました。報告事項の後、新理事が登場し、次期事務局長予定者・宮田小町氏の挨拶がありました。審議の過程で多くの発言がありました。例年出る「仕事のない会員の処遇について」「仕事の紹介に機会均等を」などの要望について、事務局から本年度は「さらに就業開拓にも取組む」という前向きな回答がありました。全日程終了後、恒例の大福引大会が賑やかに行われ散会しました。

— P6に関連記事— (重松)



退任のご挨拶



前事務局長
藤原 好幸
(2017～2026在職)

平成29年4月から長い間シルバー人材センターでお世話になりました。この間、前職では経験することのできない大切なことを沢山学ぶことができました。会員の皆様、そして職員の皆様ありがとうございました。

今思い返せば至らないことばかりが思われます。シルバー人材センターでお世話になる機会がなければ、気づかない景色が沢山ありました。シルバー人材センターを退職しても、新しい仕事にチャレンジするつもりですが、ここで学んだ経験と知識を生かし一歩一歩前に進むつもりです。

私がシルバーで学んだことの中で、一番大切にしたいことはまず人の話をよく聞くことです。

そしてその人の良いところを見つけて温い気持ちで接することです。これはできるようなかなか難しいと思っています。

まずは、身近な妻に挑戦していますが、結果はいつか聞いてみようと思っています。

そんなことを考えると、会員さん一人ひとり、職員一人ひとりの会話が思われます。嬉しかったこと、悲しかったこと、後悔したことすべてが大事な思い出です。

さて、話は変わりますが、シルバー人材センターにインボイス制度やフリーランス法の施行、包括的契約の開始と制度変更の波が押し寄せてきました。何とか乗り切れたのも会員の皆様、そして職員の協力があったことです。この場をお借りし、あらためてお礼申し上げます。

新しい事務局長さんをお迎えし、会員さんと職員が手を携えて新事務局長と共に、この困難な時期を乗り切っていただきたいと存じます。

最後にシルバー人材センターの発展と、皆様のご多幸を心からお祈りします。

就任のご挨拶



事務局長
宮田 小町

日頃より高知市シルバー人材センターの事業運営に多大なご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。この度、7月1日付けをもちまして、前藤原事務局長の後任として高知市シルバー人材センター事務局長に就任いたしました宮田と申します。

高知市シルバー人材センターでは、昭和56年の設立以来、高齢者の皆さまの持つ知識と経験を生かした臨時的・短期的な就業機会の確保や、ボランティア活動、各種サークル活動等の取組を通じて、生きがいづくりと社会参加を支える役割を担ってまいりました。

この長い歴史と伝統を持つ本センターで仕事ができますことは、大変うれしく、また大きなやりがいも感じております。

さて、本センターでは、本年度の重点的な取組として、会員拡大対策、安全就業対策、そして仕事の受注拡大と会員の皆さまのニーズを踏まえたマッチングの推進等を予定しております。これまでと同様、会員の皆さまによる安全で丁寧な仕事、発注者の信頼を得て、受注が拡大し、また会員数も増えていくという良い循環を目指すほか、発注者のニーズも掘り起こしていく取組も進めてまいります。と考えております。

また令和6年11月にフリーランス新法が施行されたことを受け、本年度から順次、包括的契約への移行を進め、フリーランスである会員の皆さまが法による保護を受け安心安全に就業できる環境整備を目指すほか、発注者の利便性を高めるコンビニエンスストア支払い制度の導入等も予定されており、それぞれ着実に対応していきたいと考えております。

微力ではありますが、これまでに培った経験を活かし、理事長はじめ役員一同と力を合わせ、「生きがいの充実と社会参加の実現」を目指して全力を尽くしてまいります。今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年度 ブロック総会

旭ブロック



2月26日(木) 10:00～11:30
元気ふれあい館・福寿園(研修室)
会員26名 事務局2名

本年度は新たに役員会からブロック活動目標が提案され承認されました。次に事務局長よりシルバー活動その他の報告があり、関連して会員からの疑問や役員から活動上の悩みが率直に語られました。

高須五台山ブロック



3月5日(木) 10:00～11:00
高知市東部健康福祉センター
会員19名 事務局2名

役員改選により長崎ブロック長が退任、岡崎ブロック長が選任され、他の役員は留任で承認されました。昨年度比較で出席者は増加傾向で、会員からの意見もあり次年度もより良い総会にできればと思っています。

長浜ブロック



3月17日(火) 10:00～11:30
高知市立自由民権記念館
会員11名 事務局2名

生田ブロック長が退任し、ブロック長不在の為、藤原局長が司会進行を行いました。役員改選で美崎氏が推薦され、承認されました。その後事務局から現情報がありました。

三里ブロック



3月18日(水) 11:00～12:00
三里文化会館
会員26名 事務局2名

恒光ブロック長より開会宣言・挨拶があり、役員改選は全員留任となり承認されました。続いて7年度の活動費収支報告のあと、事務局長より現状報告や安全就業についての話がありました。

潮江ブロック



3月19日(木) 14:00～15:30
潮江市民図書館
会員16名 事務局2名

徳田ブロック長の開会宣言のあと議事に進みました。質疑では何人かが発言し、仕事がなかなか見つからないという意見で少し強い口調でのやりとりがあり、新たな業務も開発して欲しいとの意見がありました。

大津介良ブロック



3月23日(月) 12:00～13:00
高知市介良 レストラン旬屋
会員14名 事務局2名

昼食を食べながらの会議でした。長らく不在だった班の副班長に立候補者があり、他は留任で承認されました。質疑応答では剪定・草刈りに関して貴重な意見があり、事務局に持ち帰って検討する事になりました。

鏡土佐山ブロック



3月24日(火) 10:00～11:00
鏡中央公民館
会員6名 事務局2名

役員改選は全員留任で承認され、7年度のブロック活動報告・会計報告も承認されました。10時から11時まで、窓辺から桜の木が見える会議室での有意義な会議でした。

城西ブロック



3月25日(水) 10:00～11:30
高知市小高坂更生センター3階研修室
会員15名 事務局2名

前ブロック長が体調不良で不在の為、事務局長が開会の挨拶をし、津野職員が会計報告をしました。野田氏がブロック長に指名され承認されました。その後、新ブロック長から順次自己紹介をして終了しました。

江ノロブロック



3月26日(木) 13:30～15:15
江ノロコミュニティセンター
会員12名 事務局2名

宮野ブロック長の開会宣言に続き、活動報告、役員改選を行い承認されました。その後、事業説明や今後の取り組みについて説明がありました。防災講和の実施について協議し意見交換を行いました。



会員紹介

豊かな人間力で 就業にはげむ

江ノロブロック
岩田陸男さん(76歳)



今回の取材は、江ノロブロックの岩田陸男さん。実は編集員と同じ就業先ですが、勤務シフトの関係で再会は就業先の面接以来、約3年ぶりです。

複数の就業を精力的にこなす岩田さんとの取材が叶ったのは、「ゴールデンウィークの「昭和の日」。昭和世代の私たちにはどこか懐かしく、めでたい響きの日です。祝日で事務局の会議室が使用できないため、若者で賑わう街中のカフェでお会いしました。私たちのテーブルだけは「昭和のバリア」が張られたような大人の落ち着いた空気が流れます。まずは、お互い元気に就業していることを祝して、コーヒード乾杯して話を伺いました。早速、会員の皆さんが最も気になるであろう「多くの就業を

請け負う秘訣」を尋ねると、岩田さんは事も無げに答えてくれました。

「現在は料亭の設営、寿司屋で洗い場、不燃物当番代行作業を数件、県の施設管理等が主だったところでしょうか。シルバードに入会して4年になります。就業は恵まれていると思います。

秘訣があるとすれば「紹介された就業は基本的に断らないこと」でしょうか。それが次の縁に繋がります。そして何より、コミュニケーション力が大切ですね。どのような就業先であれ、若い人達と一緒に就業する事になりますからね」

当たり前のような言葉でも、岩田さんが言うのと、数々の荒波を乗り越えてきたであろう重みと、深い人間力が滲んでいます。編集員は、その源を探るべく、少し岩田さんの人生を深堀させていただきました。

岩田さんは山梨県生まれ、10歳から59歳まで広島で過ごされました。広島では仕立服のボタンの裏地の卸業を営みながら、長年お母様の介護を続けていました。89歳の母を看取ったあと、ふと周りを見渡すと、親しい友人は皆先立ち、親族とも遠く離

れ、いつの間にか一人ぼっちになって孤独の中にいたといいます。そんな岩田さんを救ったのが高知にいる妹さんでした。妹さんの勧めで高知に移住し早いもので17年になるとのことです。

なんと驚くことに、岩田さんの歩みは、前号で紹介した竹下豊さんと重なる部分が多くあります。このお二人に共通するのは、逆境を乗り越えた「人間力」が人を惹きつけるという点です。幾重もの地層を経て濾過された清水のように、その人柄には深い味わいがあります。

取材のたび会員の皆様から教えられることですが、竹下さんと同様、岩田さんも苦労を苦労とも思わず、これまでの人生を力強く駆け抜けてこられました。

だからこそ、心にゆとりがある「今」は、どんな就業場所であっても自然体で周囲と調和し、充実した日々を謳歌されているのでしょうか。

「無理せず」とか「頑張つて」という言葉さえ、野暮に感じてしまう編集員ですが、願うのは一つ。これからも健康第一で、その豊かな人間力を現場で輝かせていただきたい。そう感じる取材でした。

(池田)





0800からの電話

数年前から、0800から始まる迷惑電話がよくかかってくるようになりました。



スマホ着信画面のイメージ

090や080は携帯電話ですが、0800は知りませんでした。それで調べてみました。

フリーダイヤル

その電話は0120と同じフリーダイヤルでした。フリーダイヤルは通話料不要でかけられる電話番号です。問い合わせや予約専用の番号などに使われているので利用したこともあると思います。テレビコマーシャルでもよく見かけます。その0120からの番号が残り少なくなってきたので、0800からの番号が使われるようになってきました。

0120は10桁ですが、0800は11桁です。その違いはありますが、0800もフリーダイヤルなので、それ自体が問題ではありません。実際、大企業や公的機関でも使われています。

問題なのはこの番号を使って強引な勧誘や詐欺などに利用する人がいることです。電気が安くになるとか、不要なものを買い取りますなどの電話がかかってくる。

被害に遭わないために

このような迷惑電話で詐欺などにかからないようにするには見知らぬ電話番号やかかってくる予定のない電話にはより一層の注意をすることが必要ですね。

留守番電話に設定するとか電話機の機能を使って、相手の要件を確認してから電話を取るかどうか判断するなどの方法もあります。

知らない番号には一度目は出ないで、ネットで電話番号を検索してから出てもいいかどうかを決めるという方法もあります。

携帯電話だけでなく、固定電話でも相手の電話番号を表示する方法があります。このことは97号の「ナンバーディスプレイが無料で利用できます」で、無料になるための年齢等の条件と一緒に紹介しています。

国際電話は着信拒否

「+」から始まる電話番号は海外からかかってくる電話です。高知県警のホームページでは「国際電話の着信拒否をいたしましょう！」と呼びかける音頭が紹介されています。怪しい電話には注意をしましょう。(小嶋)

潮江地区 子ども見守り隊

19年の活動お疲れ様です！



2026年3月3日 潮公園にて

潮江地区の子ども見守り隊活動を支えてくださいました全ての皆様ありがとうございました。

潮江地区の子ども見守り隊は、平成19年9月からモデル地区として一足早く取り組みを開始し、同年10月10日岡崎誠也市長を含む高知市関係者50人が出席し、潮江小学校で盛大に発足式が行われました。岡崎誠也市長の「子どもたちへの声掛けは安心安全の地域を作る第一歩」との激励の言葉をいただき、高知市シルバー人材センターの子ども見守り隊活動が始まりました。子ども見守り隊は、定番の黄色のブルゾンと帽子をかぶり子供たちを見守ってきました。

平成26年度の定時総会において、子ども見守り隊に特別表彰10ブロック(城東、江ノ口、潮江、朝倉、鴨田、長浜、一宮、秦、初月、大津介良)118名が表彰されました。平成28年度は一宮の杉本博会員の子どもの見守り活動が、高知県社会福祉協議会から高知の輝くシニア大賞「キラリ賞」を受賞しています。

平成26年度は10ブロックで118名が活動していましたが、令和6年度は5ブロック(潮江、朝倉、鴨田、一宮、鏡土佐山)39名まで減少しています。

潮江地区では、数か所の公園で子供たちを見守ってきましたが、ここ数年は公園に子供たちが遊びに来なくなり、1ヵ月活動をして1〜2名の子どものみしかいない状態が続いていました。やむを得ず潮江地区の3班が3月末で活動を終えることとなり、3月3日潮公園にて3班12名で終了式と記念撮影を行いました。

また1班、2班も4月末で活動を終了しています。潮江地区は子ども見守り隊の発足当時から常に中心的役割を果たし、子ども見守り隊を牽引して来られました。ここに改めて感謝と敬意を表します。(事務局)



Photo Gallery

城東ブロック 藤崎 靖啓

作品募集中



高知県内 19 の蔵元ができたての新酒を持ち寄る「土佐酒新酒の会」。今年も4月に高知市のホテルで開催され、参加したおよそ500人が蔵元自慢の新酒や秘蔵酒に酔いしれました。新酒の仕上がりをいち早く味わえる貴重な宴であり、チケットは毎年あっという間に売り切れます。

土佐酒アドバイザーの私は今年もほろ酔いの司会進行でした！

今年3月、能登半島に行つてきました。愛車を運転してマイペー
スのひとり旅でした。
幹線道路は珠洲および輪島までは、復旧中ながらつながつています。道路は工事中だらけで、アップダウンを繰り返しながら何とか目的地に到着できました。市町村道は土砂崩れなどで不通の所が多く、全面開通はいつのことやらと思われま

会員ひろば



能登半島ひとり旅

西村 正 (76歳)
大津・介良ブロック

地元の方は大変な生活を余儀なくされていると思います。物流が通らないことには生活が困難です。珠洲も輪島も通った道筋には、コンビニもほとんど見当たりません。地震の影響で空き地が目立ちますが、本格的な復旧工事が進められています。朝市のあった所は草が目立ちますが、復旧が待ち望まれます。

人は去り産業はほとんど壊滅、一度壊れると元どおりに戻るには...。そんな中、復興を信じて頑張る人々の姿に勇気をもらいました。

高知も地震が予測されており、こうなることを想定すると、改めて身の引き締まる思いでした。「先ずは備えよう、地震対策！」

13月に旅した投稿者の印象です！

配分金支払日・入会説明会予定日 令和8年7月~10月の予定

◎配分金支払日

令和8年

- 7月15日(水)
- 8月17日(月)
- 9月15日(火)
- 10月15日(木)

◎入会説明会

令和8年

- 7月21日(火)
- 8月17日(月)
- 9月24日(木)
- 10月19日(月)

(原則、第3月曜日)
午前10時~11時30分)

令和8年度 安全標語

松崎基博 作

もう一度 安全確認 事故は無し

沢山の応募ありがとうございました。
職員全員で審査した結果、松崎基博さんの作品に決定いたしました。作品は事務局内に掲示しております。次回も沢山の応募をお待ちしております。

事務局

編集室

■令和8年の上半期が終り、折り返し点になりました。事務局は新しい局長を迎え新シーズンがスタートします。編集部も任命が更新され、会員に寄り添った誌面作りに励んでいます。今年も猛暑の夏となりそうです。体調には例年以上に注意して就業してください。(池)

■新緑の5月末、定時総会で例年より多くの会員の笑顔に再会できました。会員ひろばの投稿を通して、能登の方々の再建へのご苦労を思いました。南海トラフ地震に向き合う私たちは、能登の経験から多くを学ばなければなりません。(重)

■新聞の見出しの「沼りたい」が読めません。ネットで検索すると素直に「ぬまりたい」と読めば良いようです。見出しは「背徳な食に『沼りたい』若者」です。意味は想像できませんでした。本文には「カレーでニク」という商品がヒットしているという話題もあり、若者言葉のセンスに興味を持って読みました。(小)